

平成14年度全国高校総合体育大会第55回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成14年 8月4日 (日)

会場 日立製作所日立体育館

【女子の部】 第3日目 Bコート 第4試合

チームA 常葉学園 静岡	93	{ 29 1Q 14 22 2Q 14 23 3Q 16 19 4Q 24 OT	68	チームB 県立足羽 福井
---------------------------	-----------	---	-----------	---------------------------

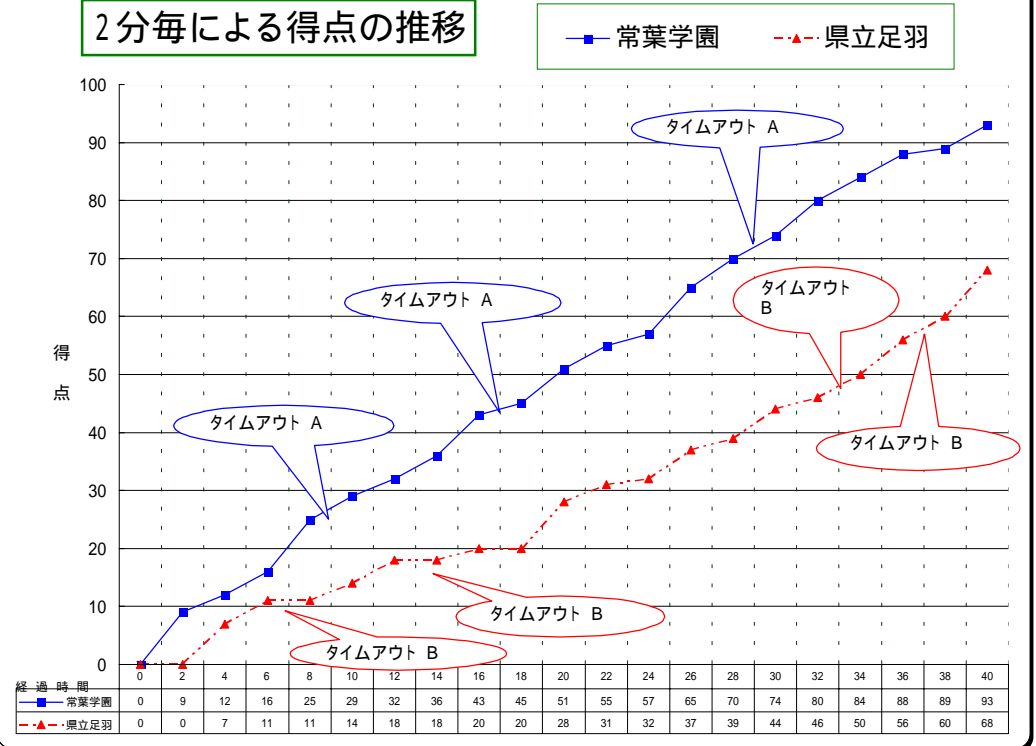
常葉学園

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	山田 未来	24	0	4	10	18	4	6	0	0	4	2	1	1	2	30
5	三浦 歩惟	8	0	2	3	10	2	2	2	0	2	0	2	6	0	30
6	櫻田 佳恵	20	1	1	8	14	1	1	4	1	1	2	0	0	0	27
7	安本亜沙美	15	0	0	7	13	1	2	4	7	5	2	0	2	0	26
8	青木 弘子	7	0	1	3	6	1	2	5	3	5	1	3	2	0	22
9	芦川 尚子	4	0	0	2	6	0	0	0	1	1	0	1	1	0	16
10	土屋 佐織	3	0	0	1	3	1	4	0	0	0	0	0	0	1	7
11	前畑亜土里	0	0	1	0	0	0	0	2	1	0	2	0	1	0	7
12	松永 南	2	0	0	1	3	0	0	2	0	1	1	2	1	0	13
13	太田 望	6	0	0	3	6	0	2	2	1	0	2	0	0	0	10
14	王 茜	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
15	赤池 史帆	4	0	1	2	3	0	0	3	0	0	2	0	0	0	10
コーチ	小前 宏史								0							
		93	1	10	40	84	10	19	24	14	20	14	10	14	3	200
		確率	10.0%		47.6%		52.6%		計	34						

県立足羽

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	荒瀬 尚代	39	0	1	14	30	11	13	2	3	5	5	1	2	0	40
5	竹内友理佳	10	0	0	3	12	4	4	4	1	3	2	0	3	0	34
6	藤生 裕美	8	0	3	2	6	4	7	1	0	5	4	0	2	0	28
7	野村 麻由															DNP
8	伊藤 梢	1	0	0	0	3	1	2	2	0	4	3	1	2	0	27
9	小鍛治佳世	2	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
10	土田 淳美															DNP
11	吉田志鶴香															DNP
12	東畑真菜美															DNP
13	出淵麻理子	4	0	0	2	4	0	0	1	0	2	1	1	1	1	18
14	谷川 智子	0	0	5	0	1	0	0	4	0	0	6	0	1	0	37
15	伊藤 瑠美	4	0	0	0	2	4	4	1	1	2	2	1	0	0	8
コーチ	林 慎一郎								0							
		68	0	9	22	61	24	30	15	5	21	23	4	11	1	200
		確率	0.0%		36.1%		80.0%		計	26						

2分毎による得点の推移



戦評

第1シードの常葉と、2回戦で地元茨城の明秀を破って波に乗る足羽の対戦。常葉はオールコートマンツーマンで激しくプレッシャーをかけて足羽のミスを生じ、#4山田#6櫻田が次々と速攻を決める。これに対し、足羽は#4荒瀬にボールを集めていく。#4荒瀬は第2Pまでで22点を決める活躍を見せるが、常葉のオールコートマンツーマンのプレッシャーは第2Pに入ってからさらに激しさを増し、足羽を圧倒する。足羽も3-2ゾーン、1-3-1ゾーン、2-2-1ゾーンプレスからの1-3-1ゾーンとディフェンスを変えて流れをつかもうとする。しかし常葉は、これにも冷静に対応し、#4山田のドライブ、#6櫻田#7安本らのスティールからの速攻で次々と加点し、51-28の常葉23点リードで第2Pを終える。

第3P、常葉はハーフコートマンツーマンにディフェンスを変えるもののプレッシャーの強さは変わらない。せめても#4山田のスピード感あふれる1対1からのジャンプシュート、#5三浦のドライブで点数を重ねる。足羽も#6藤生のステップインや#5竹内のインサイド、#4荒瀬のゴール下シュートなどで食い下がるが、第4Pに入っても点差は縮まらず、常葉が第1シードの速さと強さを見せて、93-68で足羽を破り、ベスト8に名乗りを上げた。敗れはしたものの足羽のベンチと一体となったプレーも特筆に値する。

主審 高橋 尚裕

副審 吉田 憲生

記入者 和田 創一